

花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会会議記録

- 1 日 時 令和7年1月28日(火)
午前10時50分 開議
午前11時 6分 散会
- 2 場 所 市議会委員会室
- 3 出席委員
- | | | | | | | |
|------|-----|----|---|-----|-----|---|
| 委員長 | 高橋 | 修 | 君 | | | |
| 副委員長 | 佐藤 | 現 | 君 | | | |
| 委員 | 照井 | 省三 | 君 | 小森田 | 郁也 | 君 |
| | 鹿討 | 康弘 | 君 | 似内 | 一弘 | 君 |
| | 及川 | 恒雄 | 君 | 伊藤 | 忠宏 | 君 |
| | 藤根 | 清 | 君 | 照井 | 明子 | 君 |
| | 若柳 | 良明 | 君 | 羽山 | るみ子 | 君 |
| | 佐々木 | 精市 | 君 | 小原 | 保信 | 君 |
| | 横田 | 忍 | 君 | 盛岡 | 耕市 | 君 |
| | 櫻井 | 肇 | 君 | 阿部 | 一男 | 君 |
| | 伊藤 | 盛幸 | 君 | 内館 | 桂 | 君 |
| | 本館 | 憲一 | 君 | 菅原 | ゆかり | 君 |
| | 佐藤 | 峰樹 | 君 | | | |
- 4 欠席委員
- | | | | |
|----|-----|----|---|
| 委員 | 久保田 | 彰孝 | 君 |
|----|-----|----|---|
- 5 地方自治法第105条の規定による出席者
- | | | | |
|----|----|---|---|
| 議長 | 藤原 | 伸 | 君 |
|----|----|---|---|
- 6 事務局職員
- | | | |
|--------|-----|----|
| 事務局長 | 俵 | 恵 |
| 議事課長 | 富澤 | 秀和 |
| 議事課長補佐 | 八重樫 | 雅喜 |
| 議事調査係長 | 小川 | 賢 |
- 7 会議に付した事件 別紙のとおり
- 8 議事の経過概要 別紙のとおり

花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会

日 時 令和7年1月28日(火)
臨時会終了後
場 所 市議会委員会室

1 事 件

整理番号	事 件 名
1	議員の報酬等に関するについて

2 その他

(開 議 午前10時50分)

◎委員長（高橋 修君） ただいまから、花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会を開会いたします。

初めに昨年12月18日に開催した花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会で実施いたしました、議員報酬等に関わるワークショップに御協力いただきましたが、その結果について御報告いたしたいと思います。事務局より報告をお願いいたします。

◎事務局（八重樫雅喜） 皆様に資料でお配りしておりますが、12月18日に開催いたしました花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会で行ったワークショップのまとめにつきまして私の方から簡単に御説明をさせていただきます。

まず、ワークショップの議題となりました1点目、議員報酬の額について、引き上げについてということですが、ワークショップでは引き上げることで全員意見が一致しておりました。金額につきましては、このグラフにも示しておりますが、みんなばらばらでございましたが、一番多かったのは、10万円引き上げという意見が13人、約半分の方が10万円引き上げということでした。あとは3万から5万であったりとか、6万円とか、金額はばらばらでございます。ワークショップで寄せられたコメントをこちらに整理してございます。全部は申し上げませんが、出てきた意見といたしましては、合併から報酬が変わっていない、子育て、年金を考えると10年後も踏まえて引き上げを考えてはどうかといったような意見であったり、報酬引き上げもそのとおりだが議員活動を活発にしなければならない、あるいは政策提言の実施を活発に行っていかなければならない、引き上げするにあたってですね、そういった意見もあったところです。

資料をめくっていただきまして、ワークショップの議題の2つ目でございますが、常任委員会等の正副委員長手当についてというところでございます。こちらにつきましては、8割の議員の皆様が手当を設けるべきという考えでありました。ただ一方で、もう少し議論すべきという意見もあったところでございます。コメントの内容としては、やはり委員長は職務量が多いということと、あとは各種団体の会合等に呼ばれたりする際に自腹で負担したりしているわけですが、そういった部分の交際費という意味合いでの委員長手当というものもありではないかといったような意見もあったところです。一方で、議論が不足している、今後議論を深めて結論を出せばいいのではないかと、他市の例も見ながら議論を深めるべきだというような意見もあったところです。それから委員長副委員長手当ですが、どちらもあってもいいのではないかと意見があれば、委員長手当だけでいいのではないかとか、あるいはどちらもいらないということで、ここは意見がいろいろ分かれています。手当を設けるべきと言いつつも、ちょっと詳細に行くと分かれていますところでした。

それから3枚目です。最後になりますが、報酬額を改定する際の時期ということで、ワークショップの議論の中では、令和8年4月から改定という意見が約8割、20人の方がそのような意見でございました。一方で、やはり議員改選期の8月からという意見もございました。8月の改選期の方が市民への説明が付きやすいのではないかと意見でございました。一方、4月からという意見の方は、議員の任期に関わらず報酬の引き上げが必要だという議論をした結果引き上げるというのであれば8月まで待たずとも年度当初からでもいいのではないかと、という意見もあったところでございます。

私の方からは簡単でございますが説明は以上になります。

◎委員長（高橋 修君） ありがとうございます。ただいま事務局より御報告申し上げますが、改めてここで質疑等がございましたら挙手をお願いいたします。

櫻井肇委員。

◎櫻井 肇君 確認なのですが、今日はどこまで、決めることを決めるということになるのでしょうか、進行について、今日は何を得ようとしているのか、まずお示しいただきたいと存じます。

◎委員長（高橋 修君） 今日はですね、小委員会から各会派にも持ち帰っていただいておりますけれど、2点ございます。一つは報酬。額面は後で悩みますけれど、まずは上げることについて。上げることにについて諮りたいということと、あと改定時期について。この2点について。改定時期については4月からと8月からとに分かれています、この時期について皆様方にお諮りをしたいと。あと事前に各会派に持ち帰ってもらっていた正副委員長手当についてはですね、小委員会の中でも意見がございました。社民クラブと日本共産党花巻市議会議員団から。数で押し切るというのではなくてですね、やはりその少数意見も尊重して、我々としては報酬と手当を分けて考えていきたいなというふうに思っておりますので、今後審議が終了するまでは悩んでいきますけれど、一旦手当については保留したいというふうに思っております。いずれ今日お諮りしたいというのはこの2点でございます。

櫻井肇委員。

◎櫻井 肇君 そうしますと、その2点について御意見申し上げてよろしいですか。

◎委員長（高橋 修君） よろしいです。ただ、今の質疑はワークショップの中の質疑です。ワークショップの報告で質疑がございましたら受けますが。

櫻井肇委員。

◎櫻井 肇君 重箱の隅をつつくようなことを言うつもりはありませんが、私はずっとこのワークショップの中でも申し上げましたが、議員報酬、これについてはですね、平成18年1月1日から変わっていないという事ですね。この中で平成15年から変わっていないとあるけれども、これはちょっと直した方がいいのではないかと。平成15年というのは今の花巻市は存在しておりません。意味分かりますか。旧花巻市ですから。ここは誤解があるなど。いろいろな市民との問答を想定しているから言っているものでありまして、難癖をつけているわけではありません。そういうことだと思います。ちょっとその点で気がつきましたので、一言申し上げておきます。

◎委員長（高橋 修君） 貴重な御意見ありがとうございます。それは小委員会の方で市民説明会に入る前に誤解を受けないように修正してまいります。よろしいですか。

櫻井肇委員。

◎櫻井 肇君 合併前の旧花巻市を論ずることはないのですよ。合併後の我々に責任はないので。

◎委員長（高橋 修君） 分かりました。そのように小委員会の方でも協議してまいりたいと思います。

他にワークショップに関して、御意見あれば伺いますが、進めてよろしいですか。思い出したらまた随時受けます。

◎委員長（高橋 修君） それでは、先ほど櫻井肇委員から御質問がありましたが、今回合意形成を図りたい内容としては2点ございます。

まず、報酬額を引き上げることにについて、あと報酬の改定時期については4月からなのか8月からなのかということになりますが、この2件であります。

まず1つずついきます。

報酬額を引き上げることにについて、皆様方御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎委員長（高橋 修君） 補足しますけれども、市民説明に入った後にあまりにも反対が出れば、それはもちろん持ち帰りますけれども、いずれ説明会は引き上げさせてもらいたいということで進めさせていただくということです。

櫻井肇委員。

◎櫻井 肇君 この問題で100パーセント市民から支持されるということはありませんですよ。行政もそうですけれども。ありません。ただ、一番私が申し上げたいのはワークショップのときも言いましたけれども、それまでの旧花巻市の報酬を引き継いで便宜的にやったわけですね。合併してみたならば、活動範囲がなんと広いこと。対象人口ももちろん広い。旧1市3町を巡り歩けば50キロですよ。私の家から勘定すると盛岡と往復する距離です。これを旧花巻市のまま、そのまま引き継いできたということは、これはやはり合理性がないというところをきちんとお話しすれば分かっていたのではないかなというふうに私は思っています。

なお、そう考えていきますと、物価高騰がどうのこうのとありますけれども、物価高騰に関連した説明がいっぱいあると、物価高騰で苦しんでいるのは議員ばかりではないと絶対出てくるのですよ。だからそれを切り離して合理的なものの考え方としては、新市になってから全然変わってないのだという点をむしろ前面に出した方が、私は理解が得られやすいのではないかと。旧市町からの生き残りといえど何ですが、感覚ですから、合併してからの議員は何を言っているのか分からないと言われるかもしれないけれども、感覚としては私はそう思っております。説得しやすいとか住民とお話ししやすいというのはむしろその点を前面に出した方が分かっていたのではないかなというふうに思っていました。

◎委員長（高橋 修君） はい。それは説明会を行うときのことでですね。報酬を上げることには異議ないということですよ。ただいまの御意見は、説明会を行う際には意識してまいりたいなというふうに思います。

進めさせていただいてよろしいですね。報酬は引き上げさせていただくということで市民説明会の準備に入りたいというふうに思います。

次に報酬の改定時期についてですが、先ほど事務局からも報告がありましたが、令和8年4月からとするという意見が大多数でございましたが、この件について皆様方の御意見を伺いたいと思います。改めて伺いたいと思います。

櫻井肇委員。

◎櫻井 肇君 何回もすみません。これについてもですね、いろいろな考え方の問題だと思うのです。私どもの会派は8月から、すなわち任期途中で報酬引き上げというのはどうも市民にとってはなじまない話ではないのかなと思っておりました。小委員会でも会派の代表

者はそう言ったというふうに思いますが、ただ、その点で市民から特別問題視されるようなことがないというのであれば、別に引き上げ時期を4月にということも別にこれは違法でも何でもないわけですから、そこはこだわりませんが、一言御意見としては8月からという点を述べておきます。以上です。

◎委員長（高橋 修君） はい。ありがとうございます。まず市民の意見を聞いてよく判断してくれということだと思います。他にございませんか。

（「なし」の声あり）

◎委員長（高橋 修君） それでは、櫻井肇委員からも質問がございましたが、市民説明会に入るときには令和8年4月から改定するというのをベースに進めさせていただきたいなというふうに思いますが、これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎委員長（高橋 修君） それではそのように進めてまいります。

次に、2その他でございますが、この際何かあれば、ぜひ小委員会で検討したいと思いますが、何かございませんか。

（「なし」の声あり）

◎委員長（高橋 修君） それでは改めて、ワークショップのときにも言いましたが、今後のスケジュールをもう1回言いますが、まだ小委員会で残されているのは、手当は後と一緒に悩みますけれど、あとは金額です。その金額についてこれから小委員会で議論しますが、できれば3月までには、3月定例会の特別委員会全体の時までには合意形成を図りたいなというふうには思っています。ただ、そこで一発勝負ではなくて、その前に全体でもう1回、ある程度小委員会でこれぐらいの金額で考えましたがどうですかという部分は投げたいなとは思っています。いずれ3月までには合意形成を得たいなというふうに思っていますし、合意形成、金額も含めて皆様方の合意形成を得られたら市民説明会の準備に入りたいなというふうに思っています。9月ぐらいまでに意見をまとめたいたいなと思っていますが、いずれ10月には報酬審議会で、市民の意見も踏まえた結果と一緒に額面を審議会で審議していただきたいなというふうに思っております。

質疑なければ、思い出したらまた小委員会を通じて発言していただければと思います。

◎委員長（高橋 修君） それでは以上をもちまして本日の花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会を散会いたします。お疲れ様でございました。

（散 会 午前11時 6分）